

HuMA News Letter

○平成21年度の理事会・定期総会を開催

理事会報告:

平成21年7月25日(土)日本医科大学 千駄木キャンパスにおいて平成21年度理事会が開催されました。

おもな審議事項は①理事の一部交代とアドバイザーの選任、②定款変更の件、③常任理事の選出で、特に現理事の中から円滑な運営と業務遂行のため4名のアドバイザーを選任しました。

また業務の素早い対応と迅速な決定を行うために、現理事の中から10名を常任理事として選出しました。

今後審議事項は、アドバイザーおよび理事計22名で話し合い、常任理事過半数の承認を得れば遂行ということになりました。

定款変更では事務所の住所を従来の千駄木の日本医科大学内から、HuMAサポートオフィスの住所(世田谷区三軒茶屋)に変更する案が承認されました。

定期総会報告:

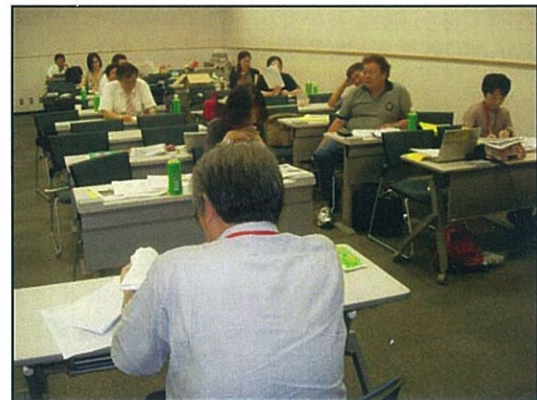
平成21年7月25日(土)日本医科大学 千駄木キャンパスにおいて、平成21年度定期総会が開催されました。

おもな審議事項は、

- ①平成20年度事業報告
- ②平成20年度決算
- ③平成21年度事業計画
- ④平成21年度予算案

以上の審議事項は満場一致で承認可決されました。

また協議・報告事項では池内氏よりミャンマーサイクロン被災者支援事業についての詳細なる報告、および中田氏より2008年HuMAフィリピンスタディーツアー実施、及び2009年HuMAフィリピンスタディーツアー募集についての報告がありました。



理事会・定期総会の様子

なお、東京都の下記のサイトにNPO法人の過去の会計報告が公開されています。平成21年度の会計は東京都の認証後掲載される予定です。

<http://www.npo.metro.tokyo.jp/>

→認証法人情報をクリック

→法人名称に「災害人道医療支援会」を記入し検索

お知らせ:

**ミャンマー・サイクロン「ナルギス」被災者支援^(注)
活動報告書冊子**

お手元に届いてない方、また周りでHuMAにご興味のある方などおられましたら事務局までご一報下さい。より多くの方々に読んでいただければと思いますので、ご希望数をご連絡頂ければ発送させていただきます。数に限りがありますので先着順とさせていただきますが、まずはお気軽にお問い合わせください!

HPIにも報告書を掲載しておりますのでご覧ください。
<http://www.huma.or.jp/activity/myanmar.html>

(注)ミャンマー・サイクロン「ナルギス」被災者支援

2008年8月から2009年2月5日まで、ジャパン・プラットフォームの助成金及び皆様の御寄付により、

1. ヘルスセンター再建 2. 井戸設置 3. マラリアの市民啓発用紙芝居配布 の3大プロジェクトを行いました。



派遣者によるミャンマーサイクロン被災者支援活動報告

事務局より

サポートオフィスの新たなスタッフとして徳光一博(事務局長代理)が8月より加わりました。宜しくお願いいたします。

現在HuMA会員メーリングリストを更新中です。メールアドレスを登録されているのに、メールが届いていない方、新しいメールアドレスを登録希望の方は、お手数ですが、徳光(tokumitsu@huma.or.jp)までご一報ください。

○ミャンマー・サイクロン「ナルギス」被災者支援 現地からの最新報告

カウンターパートのIOM(国際移住機関)ヤンゴンより、ヘルスセンターの使用状況についての報告がありました(2009年8月4日)。

ミャンマー政府はこのヘルスセンターに、政府関連機関で2年半の職務経験を持つ地域保健医療担当者(現地ではmidwifeと呼ばれます)を配置しています。地域保健医療担当者は、ヘルスセンターおよび周辺の13村(人口4,287人)を担当しています。研修にも積極的に参加し、データ管理なども行っています。2009年3月～7月の5ヶ月間で、センターの外来数はおおよそ520人、出産数は30人ということです。

このヘルスセンターの運営は、地域保健医療担当者と村長によって行われます。ヘルスセンターが中心となり、村のコミュニティでは公衆衛生活動や、月例の巡回診療(予防接種など)が積極的に行われているようです。

運営は順調で、8月7日にもセンター内分娩室で赤ちゃんが生まれました。(この地域では分娩施設が充分整っていなかったため、皆様の寄付金によりHuMAとIOMで、分娩の環境を整えました)



HuMA・IOMによって再建されたヘルスセンター
(2009年2月)



分娩室の様子

○2009年度国際災害看護研修 I

7月24日(金)～26日(日)の3日間、日本医科大学教育棟にて、国際災害看護研修 I が開催されました。

「HuMAについて」「災害看護と看護師の役割」「災害看護活動紹介」や被災地での保健衛生や感染症についての講義が行われました。

また演習では、包帯法・ギプス法を行いました。

(受講生の声)

- ・災害医療や国際援助など漠然としか知らなかったけど、写真や講義で理解できました。
- ・国際災害看護は、救急救命だけでなく、公衆衛生、心のケア、異文化理解などが重要であると学び視野が広がりました。
- ・石膏ギプスを実際に使うことが出来て楽しかったです。



包帯法・ギプス法演習の様子

国際災害看護研修 II は、2009年10月10日(土)～12日(月・祝日)に開催予定です。お問い合わせは事務局まで。HPにも募集要項を掲載しております。 http://www.huma.or.jp/seminar/intl_semi09.html

○お知らせ

2002年6月に設立されたNPO法人災害人道医療支援会 HuMAも、皆様からの御支援のもとこの6月で7周年を迎えることが出来ました。現在、事務局では、設立時から今日までのHuMAの活動をまとめた「HuMAの歩み」冊子を作成中です。会員およびいつもご協力していただいております皆様には、出来上がり次第(9月頃予定)配布を致します。どうぞお楽しみに!

会員募集・寄付金のお願い

HuMAでは本会の活動方針にご賛同いただける会員・賛助会員及び活動資金の寄付金を随時募集しております。

資料請求のお問い合わせ、銀行振込の場合で領収証をご希望の場合、また**寄付者の掲載について匿名をご希望の方は**下記事務局までご連絡を頂けますようお願い致します。

寄付金受付先

[銀行]

みずほ銀行 根津支店 普通預金口座 8010278

特定非営利活動法人 災害人道医療支援会 理事長 鞆飼 卓

[郵便局]

口座No. 00190-6-569149

口座名: 特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

ただいまの会員数**414名**
・正会員90名・登録会員219名
・賛助会員105名
(2009年8月現在)

発行＝特定非営利活動法人災害人道医療支援会

連絡先＝サポート事務局 〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋1-24-1シャコーポ308

TEL/FAX: 03-3413-7510 Email: info@huma.or.jp ホームページ <http://www.huma.or.jp>